

令和元年度十和田商工会議所経営発達支援事業評価委員会会議録

1. 日 時 令和2年3月24日（火）10時～11時
2. 場 所 十和田商工会館2階議員サロン
3. 出席者
（1）委 員 櫻田一雅委員長、岩間貴委員、互裕司委員、今辰八委員
（2）事務局 和田康文、馬場聡全、紺野剛、晴山雅紀

4. 委員長挨拶

櫻田委員長より挨拶。

5. 内 容

櫻田委員長が議長となり、案件に入った。

- （1）令和元年度事業評価について
事務局より、今年度の経営発達支援計画評価表について資料により説明。

委員から次のような意見・質問等があった。

- ・表記が「件」、「回」など混在していたり、目標が「創業3件」と表記されているのに対し実績が「創業計画2件」など、目標に対しての実績という意味で表記が統一されない箇所が見受けられるため、整理して統一した方が良い。

→内容を確認し、統一する。

- ・経営分析について、「（1）経営分析する事業者の掘り起こし」と「（3）結果の活用」には目標設定がないため実績が「-」となっているが、これではどのように掘り起こしをしてどのように活用されたのかがわからないため、何らかのコメントを記載した方が良い。

→来年度以降、実施した内容を記載する。

- ・事業承継に関する事で計画の別表一に記載されているグラフから、中心商店街の事業主の年代が60歳以上で約7割を占め、後継者がいない人が55%いると記載されている。金融公庫では後継者不在の事業所に対し、事業所（事業）を譲り受けたい人とのマッチング支援を行っており、事業承継に関するセミナーも開催している。東京で実証実験を行ったところ、かなりの数の譲り受けたいというニーズがあることがわかっていることから、こうした取り組みもぜひ活用してほしい。

→当所も事業承継ネットワークの協力により、定例事業引継ぎ相談会を開催しているが、なかなか利用者がいないのが現状。センシティブな内容のため、なかなかニーズの掘り起こしもできていない。以前に事業承継税制に関するセミナーを開催した際には、それなりに人数も集まったため、セミナー等活用しながら掘り起こしに努めたい。

議長はそのほか意見等諮ったところ特になく、11時に終了した。

令和元年度経営発達支援計画評価表（十和田商工会議所）

項目	実施概要	目標	実績
1. 経営発達支援事業の内容			
1. 地域の経済動向調査に関する こと			
(1) 景況動向の調査・分析	6月、9月、12月、3月に25社に対して調査を実施・分析した。	25社（4回）	25社（4回）
(2) 日本商工会議所L O B O 調査	毎月の調査を実施し、日商へ報告した。	5社（12回）	5社（12回）
●L O B O 調査・景況動向調査公表	当所HP内で、L O B O 調査については最新データへのリンクを設置。景況動向調査は各回ごとの調査結果を公表した。	4回	4回（見込。3月分は4月に公表予定）
(3) 十和田市商店街区歩行者通行量調査	8/18（日）、8/19（月）の2日間で市内中心商店街区18地点の歩行者通行量調査を実施した。	18箇所（1回）	18箇所（1回）
(4) 十和田市中心商店街区空き地空き店舗調査	1/31までの期間で、市内中心商店街区の空き地・空き店舗調査を実施した。	4箇所（1回）	4箇所（1回）
●通行量・空き店舗調査公表	当所HP内で、R1年度分の調査結果を公表した。また、通行量調査結果については当所広報12月号に記事掲載をした。	1回	1回
2. 経営状況の分析に関する こと			
(1) 経営分析する事業者の掘り起こし	マル経や持続化補助金相談等を通して、経営分析する事業者の掘り起こしを行った。	数値設定なし	—
(2) 経営分析の実施	H30.3月に開催した経営計画作成支援セミナー受講者やマル経融資申込者等に対してヒアリング及び経営分析を行った。	ヒアリング40件 経営分析25件	ヒアリング38件 経営分析34件
(3) 結果の活用	分析結果を事業計画策定等に活用し、あわせてミラサポ、エキスパートバンク等の専門家派遣につなげた。	数値設定なし	—
3. 事業計画策定支援に関する こと			
(1) 事業計画策定支援	経営分析を行った事業者のうち、持続化補助金、ものづくり補助金の申請者およびマル経融資申込者に対し事業計画策定支援をおこなった。	21件	30件
●事業計画作成支援セミナー	3/27に小規模事業者を対象とした経営計画作成支援セミナーを開催（予定）。	1回	1回（見込）
(2) 創業時・事業承継時における事業計画策定支援と専門家派遣による支援	創業計画については創業融資の創業計画書の作成支援を、事業承継については、持続化補助金における事業承継計画書および事業承継診断における事業承継計画書の作成支援を行った。また、起業構想段階の方については、創業相談ルームへの斡旋を行った。	創業計画3件 事業承継計画2件	創業計画2件 事業承継計画8件 創業相談ルーム利用者18名（上半期） 事業引継ぎ個別相談会利用者1名

項目	実施概要	目標	実績
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること			
(1) 事業計画策定事業者・事業承継計画策定事業者への支援	事業計画策定支援担当者を中心に、巡回、電話等でのフォローを中心に取り組んだ。事業計画と事業承継計画作成者が重複したことや、それぞれ事業計画作成時期が違うことから、単純に件数×4回とはならなかった。	23件 (92回)	34件 (96会)
(2) 創業計画策定事業者への支援	創業計画策定支援担当者を中心に、巡回、電話等でのフォローを中心に取り組んだ。時期が年度途中からのため、回数は少なかった。	3件 (18回)	2件 (7回)
5. 需要動向調査に関すること			
(1) 域内の消費者調査	該当する事業者の掘り起こしができず、実施しなかった。	3社 (3回)	0社 (0回)
(2) 域外の消費者調査	化粧品等の製造販売事業者の新商品について、ミラサボ専門家を通じ、10件の消費者調査を行った。	1社 (1回)	1社 (1回)
(3) 最新の消費・トレンド動向等の把握による情報提供	補助金申請事業者に対し、市場動向等の情報提供を行った。	4社	9社
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること			
(1) 商談会や展示会等への参加支援	商談会や展示会への参加企業はなかったが、ミラサボやエキスパートバンクの専門家派遣による販路開拓指導を行った。	参加2社 成約1社	専門家による販路開拓指導4社 (8回) 新たな需要開拓2社
(2) ホームページ作成・分析・活用セミナーまたは相談会の開催	10/4にIT活用セミナーを実施した。参加企業の大半がGoogleマイビジネスの登録を行い、新たな需要開拓に結びつけた。	参加10社 新たな需要開拓3社	参加13社 新たな需要開拓11社
(3) ザ・ビジネスモールによる販路開拓支援	昨年度からの新規登録は1社にとどまった。飲食・食料品販売の事業者については、PRページ内にメニューを載せたところ、新たな需要開拓につながった。	累計登録20社 新たな需要開拓4社	累計登録17社 新たな需要開拓4社
II. 地域経済の活性化に資する取組			
1. 地域資源・観光資源の活用振興事業	地域資源活用事業として当所青年部が主管となり、「第4回十和田湖マラソン大会」を開催。また、市街地の伝統的な観光事業として、当所・市・観光機構の共催により春・夏・秋まつりを開催した。	市内への観光客入込数 2,929千人/H29年 現代美術館観覧者数 136,400人/H29年	市内への観光客入込数 3,026千人/H29年 現代美術館観覧者数 145,263人/H29年
2. 中心市街地活性化事業	平成31年3月に認定を受けた第2期十和田市中心市街地活性化基本計画について、十和田市中心市街地活性化協議会会議等を開催し、関係者間での認識と方向性の共有を図った。	中心商店街歩行者通行量 2,576人/加重平均	中心商店街歩行者通行量 2,172人/加重平均 (4,873人/単純平均)